



王ジャパン＝テグアジアパン

WBCで王ジャパンが優勝しました。困難に告ぐ困難を乗り越えたどり着いた王者に日本人が皆日本人としての誇りを感じたくさんの事を学び取ったのではないのでしょうか。

今回私が興味を引かれたのは、王監督が提唱した「スモールベースボール」でした。

「スモールベースボール」とは別名「つなぐ野球」と言われていて本来ホームランバッターである4番バッターを中心に据え、そこから打順を組立てるのが従来のベースボールですが、日本の生み出した「スモールベースボール」は誰が出塁してもそこから盗塁したり、バントで送ったりしてこまかくつなぎワンヒット、犠牲フライで確実に1点をもぎとる野球のことを言います。

従ってこの「スモールベースボール」にはスーパースターは必要なく、それぞれがそれぞれの役割をその状況に応じて徹しきることが必要絶対条件になります。

ひとりでも「俺は俺のやり方で好きにやらせてもらう、なぜなら俺にはプライドがあり、誇りがあるからだ」と主張を始めたら機能がしなくなります。

イチローのリーダーシップ、松坂の活躍もさることながらダイエー松中の自分を抑えたチームに徹しバッティングは見事と言うしかありませんでした。

アメリカ人が一番不得意で、日本人が一番得意なBaseBall=Yakyuと言うシステムが世界No.1になったと言っても過言では無いと思います。

3月末もうみんなヘトヘトで誰が一番寝不足か王者を競い合うような中で、あれもこれも、これもあれもと考慮に入れた上での作業指揮を出す作業指揮者、確かに行き届かない所もあり不満もあるかも知れない、しかしそれに目をつむりそれどころかその足りない所をそっと無言でフォローし、疲れた体にもかかわらず、次の日のみんなが使う充電ライトの充電を黙々としてあげていた人を見かけました。そんなに仕事がバリバリ出来るわけではなく、時にはお荷物のように扱われる精神的に未熟な指揮者もいるかも知れない(すみません)自分にやれることを黙々と、体を動かすことを惜しむことなくこなしてくれるまさに「スモールベースボール」の申し子のような作業員そんな作業員がいっぱいいてくれることが私の誇りとなっています。

期末工事のご協力ありがとうございました。

羽原 篤史

